

## 令和3年第2回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	22	山田和明	<p>1 障がい児・者に対するコロナワクチン接種を円滑にするための対応について</p> <p>(1) 重症心身障がい児・者，視覚，聴覚障がい，発語障がい，精神疾患などがある接種希望者に対し，事前の情報提供の充実と円滑な接種に必要な配慮を十分に講じることについて伺う。</p> <p>2 不登校児童・生徒の居場所づくりについて</p> <p>(1) 教育機会確保法では，不登校の子供に対し状況に応じた支援，不登校でも学習できる環境の整備などの実施を定めている。</p> <p style="padding-left: 2em;">そのため，教育委員会では子どもの心のケアハウス事業に取り組んでいるが，学校に通学していない不登校の子供を民間で取り組んでいるフリースクールとの連携で居場所づくりを図ってはどうか伺う</p> <p>(2) 不登校の子供を抱える親御さんへ相談できる場所，フリースクールの紹介等の情報提供について</p> <p>(3) フリースクールを経営されている方は，企業等からの支援を受けている方が多くその金額は一定ではない。</p> <p style="padding-left: 2em;">厳しい経営状況が続く中で取り組んでおり，大崎市として財政支援すべきと考えるが，所見を伺う</p> <p>3 令和3年度税制改正の大綱を大崎市としてどう活かすのか</p> <p>(1) 税制改正について既に情報発信されたのか伺う</p> <p>(2) 法人課税で産業競争力強化に係る措置が講じられたが市内の中小企業・小規模企業をどう育成していくのか，所見を伺う</p>
2	4	山口文博	<p>1 脱炭素社会での大崎市における問題について</p> <p>(1) 脱炭素社会「カーボンニュートラル」の実現に向けて，再生可能エネルギー開発による自然破壊について伺う</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 森林開発による雨水の保水力低下がもたらす災害について伺う</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 地球温暖化対策として，二酸化炭素吸収量を増大させる森林保護について伺う</p> <p style="padding-left: 2em;">ウ 世界農業遺産の良好な自然景観形成の保全について伺う</p> <p style="padding-left: 2em;">エ 太陽光発電施設を開田や耕作放棄地などへ設置したことによる対象地域への田んぼダム等の義務化について伺う</p> <p>(2) 環境省のエネルギー特別会計を活用した取組について伺う</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 地方公共団体の補助，委託事業への取組について伺う</p> <p>2 大崎市の青少年育成について</p> <p>(1) 青少年の健全育成に関する諸機関，団体や民間有志者などの活動について伺う</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 大崎市青少年センターの活動内容について伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
3	13	相澤久義	<p>イ 青少年のための大崎市民会議の現状と活動内容について伺う</p> <p>ウ 青少年健全育成の推進体制の整備について伺う</p> <p>1 三本木パークゴルフ場建設工事の検証について</p> <p>(1) 何を参考にして、どのようなパークゴルフ場を描いて仕様書を作成したのか</p> <p>(2) 暗渠排水口から排水されないことはなぜか</p> <p>(3) 芝生の生育不良はなぜか</p> <p>(4) 県事業 18 億 6 千万円の事業費である程度の完成品。施工監理した建設部建設課としての評価、県に対しての面目はどう考えているか</p> <p>(5) ひまわりコースの改善工事は、施工業者の協力により試験的に行われているというが、ほかのコースの改良工事を同様に施工業者にやらせるべきでは</p> <p>(6) ひまわりコースの改善工事で本来の暗渠が効いているか</p> <p>(7) コースの抜本的な改良工事について考えを伺う</p> <p>ア 透水性の悪い原因は表土とクラッシャーラン、C-40の層である。本来の暗渠が効くようにこれらの層を大型トラクターでサブソイラー（心土破碎機）等を用い洗砂等で土壌改良しコース整備をすれば安価な工事費で済むと思うが、所見を伺う</p> <p>イ 6 コース 54 ホール、全国大会を開催する計画でオープンしたが、多くの利用者からホール間が近すぎて危険であるとの声がある。改良工事で思い切って 4 コース 36 ホールにしてはどうか</p> <p>(8) 今後の改良計画について伺う</p> <p>ア なのはなコース、すいせんコースの工事を令和 3 年度内に済ませ、来春には全コースオープンできるか伺う</p> <p>2 どう変わる、中学校部活動方針について</p> <p>(1) 「学校の働き方改革」により、休日部活動を従来の学校主体から地域主体にしていくことを目標とした部活動改革案が示されたが、2023 年度以降に地域移行のようだが、学校、教育委員会の取組と課題、指導者支援確保について伺う</p> <p>3 SDG s の取組について</p> <p>(1) SDG s、持続可能な開発目標は、誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。2015 年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中で掲げられた。2030 年を達成年限として 17 のゴールと 169 のターゲットから構成されている。大崎市、教育委員会（市内幼小中学校）での取組について伺う</p>
4	2	伊勢健一	<p>1 新型コロナウイルスワクチン接種の体制について</p> <p>(1) 保育士や高齢者施設、教員などへのワクチン接種の考</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			え方について (2) 職域接種実施の考えを伺う 2 産業振興について (1) 大崎地域バス事業者協議会との意見交換の経過について (2) 上記に関連して、スクールバスの安全な運行体制確立への考えについて 3 観光・地域おこしについて (1) 「岩出山小紋」の観光への活用について (2) 昨年10月、道の駅おおさきを起点に宮城大学の学生が企画した「ふるかわRIDE」が行われた。その成果をもとに自転車を通じた観光に力を入れていくべきと考えるが、所見を伺う (3) 富山県黒部市で行われたみやぎ大崎市うまいものフェアの成果について 4 教育行政について (1) 令和3年4月に開校した古川北小学校の現状について (2) 古川北小学校の開校により閉校した小学校の管理及び跡地利活用の考え方について (3) 令和4年度から段階的に実施する35人学級の検討状況について (4) 部活動の地域移行へ向けた地域組織づくり、外部指導者の人材確保の現状について (5) 図書館の蔵書を通じた図書館同士の交流の可能性について
5	9	佐藤講英	1 市民に期待され、魅力ある消防団について (1) 消防団員の減少と次世代の人材育成について (2) 機能別消防団の現状と対策について (3) 消防団員の待遇改善について (4) 消防団活動における団員の意識調査について 2 「ヤングケアラー」への本市の対応について (1) 福祉、教育の連携の全生徒対象の実態調査について (2) 本市スクールソーシャルワーカーの現状と対策について (3) 社会的認知度の向上対策について
6	16	加藤善市	1 第2次大崎市産業振興計画について (1) 基本目標である「連携・醸成・発信 次世代へつなぐ産業の創造」の実現に向けた現行計画を推進していく中で見えてきた課題について (2) 計画の中の将来像について
7	18	関 武徳	1 21年産主食用米の需給緩和対策と本市水田農業への影響、生産誘導、経営安定に向けた取組の考えを伺う (1) 持ち越し在庫増による米価下落への懸念が強いが、JA等関係機関、組織との協議、対策はどう取り組まれてきているのか

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
8	17	横山悦子	<p>(2) 本市における非主食用米、麦、大豆等の作付面積の動向と本年作付最終の営農計画書における集計結果と過不足状況について</p> <p>(3) 県農業再生協議会では、5%の削減に取り組むとしている。本市での目標、取組を伺う</p> <p>(4) 本市産米の販路拡大への取組状況と成果、今後の戦略を伺う</p> <p>(5) 本市やJAが管理する米の関連施設の機能や収容量は、需要に対し十分に対応できているのか伺う</p> <p>2 新たな未来型居住エリア整備構想への取組について</p> <p>(1) 宅地の小規模開発から、環境一体型エリア整備による安全・安心の居住実現への取組が必要と思うが、所見を伺う</p> <p>(2) トヨタに学ぶ、企業との連携、スマートタウン実現への取組の考えは</p> <p>1 消防団員の処遇改善について</p> <p>(1) 消防団員の現状と課題をどう見ているのか</p> <p>(2) 多様化する消防団員の役割について</p> <p>(3) 出動手当の増額について</p> <p>2 不育症と不妊治療について</p> <p>(1) 不育症について本市のこれまでの取組について</p> <p>(2) 不育症治療費助成に取り組むべきだと思うが、市としての所見を伺う</p> <p>3 公衆トイレはいつでも安心して使用できるように維持管理すべき</p> <p>(1) 公衆トイレは冬季期間も含め、安心していつでも市民が使用できるよう維持管理をすべき</p> <p>(2) 鳴子温泉鬼首地区(国道108号沿い)に公衆トイレを設置してほしいとの要望をいただいた。設置の考えについて</p> <p>4 コロナ禍における女性の負担軽減について</p> <p>(1) 市としての対策は</p>
9	5	山口 壽	<p>1 大崎市初の風力発電設備建設事業は、市民の生活環境にどのような影響があると考えているのか</p> <p>(1) 市にとってのメリットは何があるか。また、デメリットはあるのか伺う</p> <p>(2) 景観から見た影響をどのように捉えているか。また、観光振興や市民の生活環境から見た場合は市として影響がないものと判断するのか伺う</p> <p>2 コロナ時代の社会活動を市として、今後どうあるべきと捉えているのか市長の考えは</p> <p>(1) 飲食店や商店が減収している影響を一部の交付金補助だけで対策をしているが、全体的に連鎖して地域が停滞している。 市としてどのように捉えているのか伺う</p> <p>(2) 地域の活動やイベントが自粛している現状をどうある</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
10	20	只野直悦	<p>べきと考えているのか伺う</p> <p>3 大崎市におけるこれからの農業振興について</p> <p>(1) 担い手不足をどのように捉え、今後、市として独自の対策を考えているのか伺う</p> <p>(2) 大崎市の農産物を消費拡大するためにも地産地消の推進対策をさらに考えているのか伺う</p> <p>(3) 中山間農業の新たな振興策があるのか伺う</p> <p>1 新たな過疎法と地域振興について</p> <p>(1) 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法について</p> <p>ア 過疎対策の在り方や方向性について</p> <p>イ 田尻地域が加えられた理由と、どの段階で分かったのか伺う</p> <p>ウ 制度に基づいた計画書の策定と協働のまちづくりをどのように描いていくのか伺う</p> <p>2 文化財の保存と調査について</p> <p>(1) 未指定文化財の調査について</p> <p>ア 未指定になっている文化財調査の必要性について</p> <p>イ 田尻小松寺跡にある板状五輪塔婆の文化財としての価値について</p> <p>3 市民ニーズに対応する広報の充実について</p> <p>(1) デジタル社会における紙媒体の広報の必要性について</p> <p>(2) 大崎市市民便利帳の全面改訂について</p>
11	25	木内知子	<p>1 下伊場野山王線整備について</p> <p>(1) 下伊場野山王線は、本市のハザードマップでは5メートル以上の浸水想定区域とされている。 非常時に備え現在のまま、鳴瀬川兼用堤上の古川松山線を存続させるべきではないか伺う</p> <p>(2) 将来構想の下伊場野山王線起点から利府松山線に接続する直進の延伸道路整備計画はいかに考えられているのか</p> <p>(3) 利府松山線への接続増路（砂利道）の舗装を県に再要請したのか</p> <p>2 大崎東部高校再編について</p> <p>(1) 期待する学校像について</p> <p>ア 生徒たちにとって理想の学び舎の要件を備えているかが重要である。自分たちが学びたい学科があり、通いやすく、経済的に負担の少ない学び舎と考えるが、市長の見解を伺う</p> <p>(2) 立地場所について</p> <p>ア 通学する生徒にとって利便性の良いことが求められる。松山地域住民の総意として、松山駅町駅近傍への設置を提案しているが、市長から県教委へ働きかけをしていただけないか伺う</p> <p>3 コロナ禍での「生理の貧困」について</p> <p>(1) コロナ禍で「生理の貧困」が問題になる中、内閣府は</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
12	27	小沢和悦	<p>各省庁と連携を行うと表明し、新たに地域女性活躍推進交付金（つながりサポート型）を措置、文科省は学校での生理用品の生徒への提供方法や配置場所等の検討など事務連絡を行った。</p> <p>これらを受け、行政の責任でしっかりと取り組んでいくべきと考えるがいかがか</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナウイルス感染症対策について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ワクチン接種，PCR検査，補償の3点セットで新型コロナウイルス感染拡大を抑え，早急に終息させることについて</li> </ol> </li> <li>2 市民生活を守るセーフティネット機能を果たせる生活保護行政と窓口対応について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「生活保護は国民の権利。生活が苦しくなったら遠慮なく申請してください」と呼びかけることについて</li> <li>(2) 「生活にお困りの方は，遠慮なく相談においでください」という看板を東庁舎，西庁舎に掲げることについて</li> <li>(3) 緊急入院等の事情により生活費に困り，相談にこられた保護世帯への親身な対応について</li> </ol> </li> <li>3 三本木パークゴルフ場造成に関する諸問題と改善工事について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 施工業者による「改善工事」について</li> <li>(2) 契約に基づく造成工事で，本来あるべきパークゴルフ場にならなかった原因について</li> </ol> </li> <li>4 大崎市の建設工事等委託業者選定方法の改善について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 総合評価方式の問題点について</li> <li>(2) 「実績ゼロ」でも価格面で差がつくと選定される仕組みについて</li> </ol> </li> </ol>
13	14	鎌内つぎ子	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 財政運営について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 今後の財政計画の考え方について</li> <li>(2) 基金の有効活用について</li> <li>(3) 田尻地域の過疎債について</li> </ol> </li> <li>2 宮城県の「水道民営化」について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 更新投資20年間で機械，設備が大幅に削減されるが市への影響について伺う</li> <li>(2) 水質モニタリングの確保について</li> <li>(3) 災害時の対応について</li> <li>(4) 費用削減効果を料金に反映することについて</li> <li>(5) 県民への丁寧な説明について</li> </ol> </li> <li>3 インフルエンザ予防接種への助成について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) コロナ禍の中，昨年同様1回1,000円で受けられるようにできないか</li> <li>(2) 今後継続的に受けられるように助成すべきと考えるが，所見を伺う</li> </ol> </li> <li>4 障がい者歯科医療について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 仙台に行かなくても大崎市民病院で歯科治療できない</li> </ol> </li> </ol>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
14	21	富田文志	<p>か</p> <p>1 市民の安全・安心を進めるための財政調整基金確保策について</p> <p>(1) 財政調整基金確保の必要性について伺う</p> <p>ア 自然災害や新型コロナウイルス対策などの不慮の財政出動への備えや、少子高齢化の社会現象を背景とした福祉政策等への対応経費など、市民の安全・安心に向けた財政需要に対応するための財政調整基金の確保策は非常に重要である。財政調整基金確保の必要性を伺う</p> <p>(2) 歳入不足を補う方策の一つとして、公共施設の適正管理がある。公共施設等総合管理計画の進行管理について伺う</p> <p>ア 公共施設投資的経費の最新状況と将来見通し、その課題を伺う</p> <p>イ 小学校の統廃合による跡地利用が喫緊の検討課題として挙げられている。取組が始まった廃校後の利活用検討の基本的な考え方と優先度について伺う</p> <p>ウ 施設の在り方を地域要望に応えるため、市民理解醸成に具体的にどのように取り組んでいくのか伺う</p> <p>エ 地域の意向を尊重する結果、施設の再投資が必要になった場合の考え方を伺う</p> <p>オ 地域から具体的な活用策が提示されない場合の対応はどのようなのか伺う</p> <p>(3) 公共施設等の遊休資産の現状と将来見通しについて伺う</p> <p>ア 施設用途ごとの現状課題、老朽化が進む市営住宅や社会教育施設等の現況と方向性、資産管理台帳と現況調査の突合はどのように行われ、今後に生かされていくのか伺う</p> <p>イ 活用されている財産と遊休資産の割合はどうか。また、合併前の旧1市6町別の活用されている財産と遊休資産の割合はどうか。地域ごとに差はあるのか伺う</p> <p>ウ 合併前の旧1市6町別の遊休資産はどのようなものがあるか。各地域別に主なものを伺う</p> <p>(4) 補助金等により取得した財産を処分（有効活用）する場合の問題点を伺う</p> <p>ア 取得した財産を補助金等の交付対象事業以外に供するための特例はあるのか伺う</p> <p>イ 補助事業の対象期間に明確な規定はあるのか。また、補助対象期間が過ぎれば自由に処分（有効活用）できるのか伺う</p> <p>(5) 遊休資産の有償貸付けや売却についての基本的な考え方を伺う</p> <p>ア 有償貸付けや売却する場合の問題点としてどのようなことが想定されるのか伺う</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
15	3	鹿野良太	<p>イ 指定管理委託料を支払うということと、売却をして歳入に充てることの比較、検討はされているのか伺う</p> <p>1 子育て世代の市政への評価について</p> <p>(1) 子育て世代が感じている支援ニーズと子育て世代の市政評価をどのように受け止めているのか伺う</p> <p>(2) 今後の本市の人口構成や経済活動の維持を考える上で、子育て世代に選ばれる自治体という視点で政策立案すべきではないか、所見を伺う</p> <p>2 古川西部地区学校統合の意味と目指すべき姿を見失っていないか</p> <p>(1) 素晴らしい小中一貫義務教育学校ができるという希望のもと保護者や地域住民は小学校の閉校に同意した。しかし一方で、整備予算には限りがあることから、統合によって現在の各小学校の学び舎よりも古く老朽化している古川西中学校校舎（統合時、築48年）の教室に入る予定の児童もいると聞いている。</p> <p>また、樹木の伐採や校庭、グラウンドの縮小が検討されているが、縮小することで部活動や行事が制限され、これらの整備は教育環境整備の名のもとで、保護者や地域住民に教育環境悪化と捉えられ、本来は手厚く予算配分され環境整備がされなければならないにもかかわらず、教育コストの削減だけが目立つ統合になるのではないかと懸念があるが、所見を伺う</p> <p>(2) 教育目標や学校経営ビジョン等、統合校のソフト面の協議が進んでいない中で、増築校舎整備の設計が進んでいる。“ビジョンなきハード整備”に不安を感じるが、統合準備委員会で出た増築校舎への要望はどのように基本設計に反映されているのか伺う</p> <p>3 O s a k i デジタルトランスフォーメーション（DX）について</p> <p>(1) 行政と共に大崎市全体のDXをデザインしていく官民連携組織創設の必要性について、所見を伺う</p> <p>(2) 若者を取り込みながら中心市街地の賑わい創出と官民が連携し不足しているデジタル人財育成の為、また、本市デジタル化のシンボルとして、現在整備中の地域交流センターに総務省ローカル5G基地局設置の申入れをしてはどうか、所見を伺う</p> <p>(3) 主に高齢者に多いとされ、操作が不慣れなことから発生する、地域におけるデジタルデバイド（情報格差）を解消するためのニーズが高まっていると感じている。総務省は6月から全国1,800か所で高齢者へ無料のスマホ講習会を実施するとしている。本市ではいつ、どこで何回開催されるのか伺う。</p> <p>また、これに伴い地区公民館などを巡回し、気軽に通信機器やアプリの使い方を聞くことができる「地域デジタル支援員」の創設を提案するが、所見を伺う</p>



発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
16	23	氏家善男	<p>4 2050年脱炭素社会の実現に向けて</p> <p>(1) 本年5月26日に国会で2050年の温暖化ガス実質排出量ゼロにする目標を明記した改正地球温暖化対策推進法が成立し、6月8日時点で全国403自治体が「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」に取り組むことを宣言している。本市も「2050年ゼロカーボンシティ」の表明(宣言)をすべきではないか、所見を伺う</p> <p>(2) 本市は民間所有も含め42,871ヘクタールという広大な森林面積を保有するが、2050年カーボンニュートラルに向けて、これらの森林は二酸化炭素の吸収という大きな役割を果たすことになる。本市の森林は年間CO<sub>2</sub>をどれくらい吸収すると想定されているのか。 また、本市のCO<sub>2</sub>排出量と吸収量から何年ごろに「二酸化炭素排出実質ゼロ」を達成できる見込みか伺う</p> <p>1 新型コロナウイルスワクチン接種について</p> <p>(1) ワクチンの市町村への配分基準について</p> <p>(2) ワクチン接種の申込み方法について</p> <p>(3) 75歳以上のワクチン接種率について</p> <p>(4) 65歳から74歳の現在における接種申込み状況について</p> <p>(5) 市民全体の接種希望者の予測、対象者の何%か</p> <p>(6) 64歳以下のワクチン接種の進め方について</p> <p>(7) 優先すべき業種の考えについて</p> <p>2 学校統合後の跡地利用について</p> <p>(1) 庁舎内での推進体制の状況について</p> <p>(2) 地区民要望書への検討と進捗状況について</p> <p>(3) 今年統廃合した古川北部地区の跡地利用の手法について</p> <p>3 鳥獣被害対策について</p> <p>(1) 鳥獣被害の実態について</p> <p>(2) 電気柵及び物理柵の実績と今年の申込み希望状況について</p> <p>(3) 物理柵設置への助成について</p> <p>4 水田農業対策について</p> <p>(1) 本年産食用米の需要に応じた数量生産の達成の見込みについて</p> <p>(2) 大豆、飼料米、備蓄米等の作付について</p> <p>(3) 耕作放棄が増えているが対策について伺う</p>
17	8	八木吉夫	<p>1 再生可能エネルギーと産業振興について</p> <p>(1) 小水力発電の進捗状況並びに、ごみ処理施設の廃熱利活用政策と市の産業振興との連携について伺う</p> <p>2 ゼロカーボンを目指して</p> <p>(1) 太陽光発電や再生可能エネルギー整備事業を実施する事業者や企業に対し、支援をすることによってゼロカーボンに拍車がかかると思うが、所見を伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
18	12	中鉢和二郎	<p>1 新型コロナワクチンの接種順位について</p> <p>(1) 国が示す接種順位において、市民生活を支えているエッセンシャルワーカーへの優先接種は、医療従事者と高齢者施設等の従事者のみとなっている。しかし、市民生活を維持する上で必要な業務を継続するための労働者に対し優先的に接種をすることは、働く世代を守り、高齢者や子供たちを守ることにつながり、業務の停滞や医療崩壊などのリスクを減らし市民の安全・安心を確保するため重要である。特に、利用者と従事者が密になる機会が多く、感染拡大の恐れがある児童福祉施設、学校教育施設等の従事者を対象とすることは重要と考えるが、これらの方への優先接種を大崎市として実施する考えについて伺う</p> <p>2 大崎広域西部玉造クリーンセンター廃止後の事業系一般廃棄物について</p> <p>(1) 西部玉造クリーンセンターへの直接搬入は 40%あると聞く。来春のセンター廃止により、直接搬入している方、主に事業系一般廃棄物の排出者に大きな不利益が降りかかる。このことは事業者にとって大きな負担増となるが、大崎市としてどのような対策を講ずる考えか所見を伺う。</p> <p>3 大崎市版「2050年カーボンニュートラル」について</p> <p>(1) 菅義偉首相は 10月26日、国会での所信表明演説の中で、日本政府として初めて 2050年までに二酸化炭素ネット排出量ゼロ（カーボンニュートラル）にするとの政策目標を表明した。それを受け国内 404 の自治体（40 都道府県、240 市、7 特別区、97 町、20 村）が、「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明済みである。本市も再生可能エネルギーの積極的な導入などカーボンニュートラルに取り組んできたところだが、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロの宣言には至っていない。大崎市の「2050年 二酸化炭素排出実質ゼロ表明」はいつになるのか伺う</p> <p>4 自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）について</p> <p>(1) なぜ、自治体DXに取り組むのか、所見を伺う</p> <p>(2) 誰のための自治体DXか、所見を伺う</p> <p>(3) 自治体DXで、何がどう変わるのか、所見を伺う</p>
19	28	佐藤 勝	<p>1 第2次総合計画後期計画のまちづくりの戦略について</p> <p>(1) 東北圏広域地方計画もあと5年、新・宮城の将来ビジョンは本年度から、市の後期計画策定の基本的スタンスをどう考えているか伺う</p> <p>(2) 経済的豊かさの追求とは別に、市民が心の豊かさを実感（自然、健康、文化）できる見直し案を示し、環境問題に取り組む先進市としての将来像を求めるべきだと考えるが、所見を伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
20	1	早坂 憂	<p>(3) 見直しの推進体制として、(仮称) まちづくりミーティングと示されているが、さらに市民が、新たなつながりを持てる場として、テーマごとに対話ができる「おおさき未来会議」と題して、職員のワーキンググループの役割に期待したいが、所見を伺う</p> <p>(4) 素案ができた段階で、各地域で説明懇談会を開催するとあるが、懇談内容の焦点とまちづくりの方針を伺う</p> <p>(5) 第2期おおさき市地方創生総合戦略、大崎定住自立圏第3次共生ビジョン、この3つの進行管理と検証は、従来のやり方をどう進化させ、市民共有の計画とするのか伺う</p> <p>2 新ごみ処理施設で桜ノ目地区と約束した振興ビジョンについて</p> <p>(1) 新ごみ処理施設を受け入れた桜ノ目地区との信義と、同地区振興ビジョンの履行について伺う</p> <p>(2) 行政の責務と、地区民の信頼度を高めるためのステップと推進体制をどう整えるか</p> <p>(3) 4月13日に再度、要望書が市、議会、広域行政事務組合、組合議会に提出されたが、それ以降の具体的取組を伺う</p> <p>1 キャンプ場利用を核とした交流人口拡大と、世界農業遺産認定をはじめとした大崎市の魅力を広く伝える発信方法について</p> <p>(1) 市が所管しているキャンプ場の直近の利用状況と近年の推移について伺う</p> <p>(2) 市内にはキャンプ場並びにキャンプ利用が可能な公園は何か所あるのか伺う</p> <p>(3) 現在キャンプの利用を認めていない市内各地の公園等をキャンプ利用可能な公園として改めて整備し、市内周遊のきっかけにすべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(4) 市が所管しているキャンプ場については、有害鳥獣の被害はないのか。 また、有害鳥獣を含む野生動物の目撃情報や動物に関連した事故やけが等の発生状況と現地で行われている対策等について伺う</p> <p>(5) 古川、三本木、岩出山それぞれの道の駅は、観光のインフォメーションセンターの位置づけも担っているが、配置されているパンフレットはキャンプに特化したものがほとんどない。この際、新たに作成し、世界農業遺産の周知にもつながるものを配置すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(6) さらに、キャンプ場を訪れた方々に世界農業遺産について理解を深めていただくために、キャンプ場にも内容を分かりやすく表示した看板やチラシ等も配置すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(7) 高速道路を利用して大崎市を訪れる人を対象とした場合、キャンプ場だけではなく世界農業遺産、そして市</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
21	15	木村和彦	<p>内各所に散らばっている歴史文化関連施設等への案内看板も不足していると考えるが、所見を伺う</p> <p>1 道の駅の実現性について</p> <p>(1) 大崎市の道の駅の進め方, 考え方について</p> <p>ア 場所の選定</p> <p>イ 運営手法</p> <p>ウ 建設手法 (公設, 民設, その他ファンド等の活用)</p> <p>(2) 市民要望の対応と説明責任について</p> <p>ア 要望場所のメリット, 課題等の説明, 周知方法</p> <p>2 市霊園整備について</p> <p>(1) 斎場建設計画と跡地利用策について</p> <p>ア 霊園の要望と需給の現状</p> <p>イ 新斎場建設後の跡地利用策</p> <p>ウ 新斎場建設による周辺農地の対応 (農振の考え方)</p> <p>エ 斎場周辺の市道整備 (あまりにも整備が悪いのでは)</p> <p>3 古川北小学校の現状について</p> <p>(1) 統合小学校の評価 (学校側, 父兄, 各地域等) について</p> <p>ア スクールバスの検証</p> <p>イ バスプール, 父兄による送迎場所の検証</p>
22	19	遊佐辰雄	<p>1 新型コロナウイルス感染症に係る経済対策支援事業について</p> <p>(1) 感染症対策商工業支援事業の対象外となっている事業者に対する支援策を全ての業種に拡大すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(2) 持続化給付金, 家賃支援給付金を第2弾として再度申請ができるよう国に対し, 強く要望することについて</p> <p>(3) みやぎ飲食店コロナ対策認証制度への対応について</p> <p>2 鳴子温泉川渡の六角牧場での巨大風力発電事業計画の対応について</p> <p>(1) 住民の同意なしの強行はさせない姿勢で市は対応するのか</p> <p>(2) 住民の不安に対する市の見解は</p> <p>ア 騒音, 低周波の発生について</p> <p>イ 自然環境の悪化, 観光地にマイナスになると考えるが、所見を伺う</p> <p>ウ 樹木の伐採等による環境破壊と災害発生について</p> <p>(3) 市長の権限等について</p>
23	6	佐藤仁一郎	<p>1 水源地から下流域まで, 水害に備える対策について</p> <p>(1) ダム貯水機能維持に向けた市としての取組について伺う</p> <p>(2) ダム放流時における下流域との連絡体制について伺う</p> <p>(3) 吉田川中流域の遊水池設置計画が示されているが, 計画の進捗に対する市の対応について伺う</p> <p>(4) 豪雨が想定される時, 移動できる排水用機材等の事前</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
24	29	後藤錦信	<p>配置の連携体制について伺う</p> <p>(5) 田んぼダムの取組の進捗状況を伺う</p> <p>(6) 住宅団地整備時における雨水排水の方向性を伺う</p> <p>2 地域自治の推進体制について</p> <p>(1) 地域自治体制整備実証事業検証の進捗状況を伺う</p> <p>(2) 地域支援コーディネーター制度の方向性を伺う</p> <p>3 地域包括ケアシステム推進の方向性について</p> <p>(1) 生活支援体制整備事業の2層協議体におけるコーディネーター配置の検証状況を伺う</p> <p>(2) 全地域で推進すべきと考えるが、その方向性について伺う</p> <p>(3) 市内における独居老人数と、その中でまったく身寄りのない人の数を伺う</p> <p>(4) そのような人たちに対する支援及び確認体制を伺う</p> <p>(5) 孤独死の現状について伺う</p> <p>1 新しい過疎法（過疎地域の持続的発展に関する特別措置法）への取組について</p> <p>(1) これまでの過疎計画の検証について</p> <p>(2) 本市における人口減少の実態と過疎地域の現状について</p> <p>(3) 事業推進に向けての取組方針について</p> <p>(4) 人材の確保及び育成のため地域おこし協力隊の導入について</p> <p>2 大崎市農業振興地域整備計画について</p> <p>(1) 農業振興地域内における土地利用の現状について</p> <p>(2) 未利用地の活用策について</p> <p>3 子育て支援体制の整備について</p> <p>(1) 児童保育施設整備と待機児童数の今後の見通しについて</p> <p>(2) 公立保育所の民営化と統廃合について</p>	
25	11	佐藤弘樹	<p>1 職員人財育成について</p> <p>(1) 「大崎市人財育成基本方針」における検証手法はどうか</p> <p>(2) 資質向上並びに課題解決能力向上への考えについて</p> <p>2 空き家対策について</p> <p>(1) これまでの事業成果と検証はどうか</p> <p>(2) 関係課との連携状況及び施策への反映について伺う</p> <p>(3) 移住定住支援並びに地域活性化につながる施策への考えについて伺う</p> <p>3 教育行政について</p> <p>(1) GIGAスクールにおける指導者の理解、習熟と課題について伺う</p> <p>(2) 学び支援センターの成果と学習意欲向上への考えについて伺う</p>	